

ひまわり通信 27ねん3がつ



主の平安

Aぐみの皆さん、ご卒園おめでとうございます。ひまわり幼稚園で過ごした日々は成長の連続でした。初めて幼稚園に来た時は不安で泣きそうだった皆さんが、今やお兄さん、お姉さんとなって、しっかりと返事をして『証書』を手にして今度は小学1年生として巣立って行きます。とても嬉しいです。先生たちは皆さんのことを誇りに思っています。色んな問題を乗り越えて来たからです。これからも様々な困難にぶつかることにはなりますが、よく見て、よく考えて、知恵を絞って乗り越えていくことができますように祈っています。

さて、卒園していくAぐみさん、進級するBぐみさん、Cぐみさん、Dぐみさん、皆さんに園長先生からお願いがあります。ひとつは「いつどこでも神様は皆さんの心の中にいる」ということを忘れないでください。皆さんが喜ぶと神様も一緒に喜びます。悲しむと神様も一緒に悲しみ、慰めてくださいます。そして「お祈り」を忘れないでください。朝、起きた時 夜、寝る時 お食事をする時 いつでもどこでもお祈りはできます。お祈りを忘れないでいると、困っている人や悲しんでいる人を助ける力になっていきます。どうしようもない時に乗り越える力にもなります。園長先生も先生方も皆さんのことを忘れずいつまでもお祈りしています。どうか、皆さんもひまわり幼稚園のお友だちのため、先生方のためにもお祈りをしてください。よろしくお祈りします。

それでは皆さん、お元気で。さようなら。また会いましょう！ 園長 福崎英雄

～巣立ち～

今年65名の子ども達が巣立っていきます。縦割り保育の中で、家族の様に過ごした子ども達、家庭では、一人っ子であっても、クラスの中ではお兄さん、お姉さんとして小さい人、困っている人にいつもやさしい心で接していました。つい先日も帰りのバスの中で「〇〇君、もうすぐAさんだからこれから△△ちゃんに優しくしてあげてね！」とAさん達が、声をかけている所を見ました。△△ちゃんは時々、バスの中で立ったりする時もあるので心配だったのしょう。〇〇君も嬉しそうに「うん、わかった」とAさん達を見ていました。卒園を前にしてAさん達がいろいろな役割をBさん達に託す姿を見て心が温かくなります。モンテッソーリの幼稚園にご縁があり勤めたことで幼児教育の大切さを学びました。ひとり一人の人格を大切に向き合うことの難しさ、子ども達の素直な目が覗き込むたび心の奥まで見透かされる様でドキッとしたことあります。しかし、子ども達はもっともっと大きな心で受け入れ信頼を寄せてくれます。園長先生がよく「神様に一番愛されている子ども達」と仰っている言葉の真意が、子ども達と接する中で理解でき、成長させてもらっている自分がいます。ひまわり幼稚園で出会い、明日卒園式を迎えるこの65名の子ども達が歩いていく道にはこの先どの様なことが待っているでしょう。坂道や峠もあるかもしれませんが、でもそこには、いつでも希望があり、明るい未来があること、自分を大切に思う人がいてくれることを信じて歩んで欲しいです。

主任 福留

★3学期のこどもたち★



9日(月)にAの部屋で開かれたロボットコンテストには、発明家たちが大集結。「僕のロボットの名前は〇〇です！ここに△があって…」「わあ～！カッコいい！！」



「せんせい、みて！〇〇かいたよ！」
「どーなつ ひやくえん」
園庭に出された黒板。今日は何をかくのかな…??



「すごーい！…」くるくるまわってる。「でも、わたしだってほら、椅子に乗ればとどくよ！すごいでしょ！」



いつまでも、友だちだよ！！

「なわとび かぞえてください！」
体育でなわとびをしてから、お外でもなわとびに挑戦するBさんが増えた3学期。
まえとび、かけあしとび、あやとび、ふたりとび…
「いろいろ とべるよ！」



おわかれ遠足にて。「小学校に行ってもずっと友達だよ！！」
「今度は、僕がAさんになるんだよ」
「あそびにきてね」



～3人の先生からメッセージ～

庭のプランターに咲くチューリップを見ると、「Aさん達が植えたチューリップが咲くころには、Aさん達は1年生になるんだよ」とクラスで話したことを、家でお母さんに話して切なくなっていたBさんの男の子の話を思い出します。ひまわり幼稚園に働き始めたころ初めて耳にする神様のお話や、お祈りの言葉に最初戸惑ってました。毎朝聞くお祈りの言葉には不思議といつも自分を振り返り、見つめなおすきっかけになる言葉があり、お祈りを聞く時間が、いつしか毎朝自分の行いや言葉はどうだったのだろう…と立ち止まり、考える時間となっていました。このひまわり幼稚園に勤めて、たくさんの子どもやお母様、お父様、先生方に出会い本当にたくさんの言葉をいただきました。文章としてもらった言葉、何気ない一言、心からの言葉…私にとってその言葉は何にも代えがたいものになっています。今年度卒園する子どもたちにとっても、幼稚園で耳にした言葉やお話がふと思い出し、振り返る言葉となっているといいなと思います。進学・進級する子どもたちのこれからをお祈りしています。 森山

厳しい寒さが終わり、つくしんぼや菜の花を見つけるたびに、あっという間に季節は巡り、新しい門出がやってくるのを実感します。4月、どの子どもたちも新しく始まる園生活に、期待と不安の表情でした。1年間、繰り返しの毎日と各学期ごとにやってくる大きな行事を経験し、ひとまわりもふたまわりも成長したように感じます…お手伝いやお世話をしてくれて「ありがとう」、頑張れと応援してくれて「ありがとう」、泣いてるとき傍にいてくれて「ありがとう」。してもらったことが当たり前ではなく、当たり前だと思える小さなことにも素直に「ありがとう」が言える子どもたち。教えられて出来るようになるのではなく、縦割り保育の中で自然と受け継がれている「心」を感じる毎日でした。幼稚園生活の中で根付いたこの素直な心の「芽」が、これから子どもたちが成長していく上で大きく育ち、周りの人々を思いやることのできる大輪の花を咲かせることが出来ます様に。 森永

この1年を振り返ると、子どもたちとの時間が色濃く思い出されます。朝の準備・体操服・制服の着脱もままならない程、何も分からず入園してきたC・DさんもA・Bさんからたくさんの優しさを受けて、出来ることが増えました。「お恵み下さい」というお祈りを「お守り下さい」と間違っていたお友だちに「ちがう！「おまぐみ下さい」だよ」と自信を持って、さらに間違った言葉を教えてしまうなど、あどけなかったCさん。今では、「ママにあいたーい！わーん」と泣いているDさんの手を取り「ママにあいたいの？だいじょうぶ！もうすぐおむかえにくるからね！」と励ます逞しい姿が見られるようになりました。Bさんも“Aさんになったら”という気持ちが高まり、難しいこと、新しいことへの挑戦に進んで取り組もうという姿勢が出来つつあります。Aさんは、延長保育、Aの部屋、作品展などいろいろな経験をしてきたことで進学先の小学校での目標を、すでに胸に秘めている様です。様々な行事、お友だちや先生との関わり、お仕事や遊び等、1年を通してAさんからBさんへ、BさんからCさんへ、CさんからDさんへと思いやりのバトンが自然に受け継がれていることを感じます。進級進学をしても心の中にある思いやりの花を咲かせ続けることができます様に。 田畑

★1年の思い出★

毎日、楽しかったね！
いつもやさしい心、あきらめない心、おもしろい心で過ごしていたA組さん、小学校に行ってもひまわりの花のように明るい大きな輪をえがいて下さい。



Aぐみ・Aさん→年長児
Bぐみ・Bさん→年中児
Cぐみ・Cさん→年少児
Dぐみ・Dさん→満3歳児

学校法人カトリック学園 ひまわり幼稚園
〒891-0113 鹿児島市東谷山3丁目31-13 TEL:099-268-2340
FAX:268-2333